

平成 17 年度 協働事業評価書（パイロット事業）

基本項目

事業名	森林と川体験ワークショップ
受託団体	みどり情報局静岡
委託金額	¥ 4 9 9 , 6 9 5 -
目 的	<p>小学生を対象に、興津川流域の森林や水源の管理の大切さを、体験を通じて学ぶ機会をつくることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生を対象として、地元の水源の森とその地域に対する理解を進める ・ 水源を守るための森林管理の必要性を学ぶ機会とする ・ 森の中で、遊ぶ「楽しみ方」を学ぶ機会とする ・ 関係組織が、興津川流域の機能・働きを再確認する機会とする
内 容	<p>小学生（3～6 年生）を対象に、山の仕事や生活、川遊びなど体験を通じた学びの場としてワークショップを開催する。</p> <p>第 1 回：森林のしくみとその働きを知ろう</p> <p>日時・会場 H17.9.3 9:00-15:30</p> <p>参加者 小学生 29 名ほか 13 名</p> <p>アイスブレイク</p> <p>講 師 大武圭介氏（ホールアース自然学校）</p> <p>講義「静岡市の森の取り組みと木の話」</p> <p>講 師 長坂尚武氏（静岡市農林総務課）</p> <p>講義「森林のしくみと働き」</p> <p>講 師 片平成行氏（静岡県林業技術者協会）</p> <p>工作学習「ヒノ木のメロディオン」</p> <p>講 師 みどり情報局静岡</p> <p>第 2 回：森を知り森でとことん遊ぼう</p> <p>日時・会場 H17.9.23-24</p> <p>参加者 小学生 20 名ほか 25 名</p> <p>1 日目</p> <p>アイスブレイク</p> <p>講 師 大武圭介氏、井戸直樹氏（ホールアース自然学校）</p> <p>簡単工作「竹の食器づくり」</p> <p>講 師 みどり情報局</p> <p>講義「森林を守り、育てること」、学習「チェーンソーの使い方」</p> <p>講 師 石垣正喜氏（みどり情報局静岡）</p> <p>キャンプ：火起こし、風呂焚き、夕食づくりなど</p> <p>ナイトハイク</p> <p>講 師 大武圭介氏、井戸直樹氏（ホールアース自然学校）</p>

2 枚目に続く

	<p>2日目</p> <p>体験「山の仕事体験～チェーンソーで間伐」 講 師 みどり情報局</p> <p>体験「川のおそび」、ワークショップ「川を汚したのは誰だ」 講 師 大武圭介氏、井戸直樹氏（ホールアース自然学校）</p> <p>第3回： 身近な川、興津川を知ろう。体験を通じて生活を見つめなおそう</p> <p>講義「興津川の自然と人間の生活」 講 師 望月誠一郎氏（興津川保全市民会議）</p> <p>体験「鮎釣り」 ワークショップ「まちづくり体験ゲーム」 講 師 大武圭介氏（ホールアース自然学校）</p> <p>日時・会場 H17.10.9 9:00-15:00 参加者 小学生 29名ほか 13名</p> <p>毎回、参加者にアンケートを書いていただき、評価を確認する。</p>
成 果	<p>小学生にもわかりやすく、身につきやすい、体験型の学習で効果的な学習を行なうことができた。</p> <p>体験型学習の良さを再確認し、広めることができた。</p> <p>多様な団体、関係者の協力を得て進めることで、共通理解を深めることができた。</p>

評価項目

<p>1. 仕様書記載の事業内容は適正に実施したか？（開催回数、日数、会場、講師選定など）</p> <p><input checked="" type="radio"/> 適正に実施した</p> <p> おおむね適正に実施した</p> <p> 適正に実施できなかった部分もあった</p> <p> 適正に実施できなかった</p> <p>【コメント】</p> <p> 講師については、バラエティに富んだ構成になっており、また、講義内容も子供向けの楽しく、わかりやすい内容で充実していた。</p> <p> 開催回数、会場設定については適正であり、会場運営についてもスムーズに行なわれた。</p> <p> 参加者へのアンケートは適正に行なわれた。</p>

2. 仕様書記載の事業内容を実施した結果、見込みどおりの結果を得られたか？

見込みどおりの結果を得られた

おおむね見込みどおりの結果を得られた

見込みどおりの結果をあまり得られなかった

見込みどおりの結果を得られなかった

【コメント】

当初、参加者が集まらず苦労したが、受託団体の努力もあり所期の募集人数を集めることができた。

プログラムは非常に効果的だった。受託団体、外部講師、協力団体が持つそれぞれのノウハウをうまく組み合わせた良いプログラムだった。

3. 1,2の結果、当初の目的を達成できたか？

当初の目的を達成できた

おおむね当初の目的を達成できた

当初の目的をあまり達成できなかった

当初の目的を達成できなかった

【コメント】

参加者の理解は大変深まった。それをアンケート等で確認できた。

事前の告知や事後の報告や広がりという点で若干、PR不足ともいえる。

4. 協働だからこそ、得られた成果があったか？

協働だからこそその成果が得られた

協働だからこそその成果が少しは得られた

協働だからこそその成果は得られなかった

【コメント】

小学生がチェーンソーを操作し、間伐を行なうなど、受託団体の優れたノウハウによるプログラムができたことは協働によるところが大きい。

現場を知るみどり情報局静岡と、自然体験教育のプロであるホールアース自然学校の組み合わせは大変、効果的だった。NPO同士の協働という点でも成果があった。

参加者募集に関して、みどり情報局静岡と市の間での事前の役割分担に課題が残った。

人的サービスによる事業の場合、協働パイロット事業の設定金額(50万円以下)で、人件費を捻出するのは難しい。みどり情報局静岡からの意見として、「いい仕事をする為にはそれなりに経費もかさんでゆく」という意見もあった。